

1-6	<p style="text-align: center;">所属先の身分を言う（所属の「の」）</p> <p style="text-align: center;">（私ははぁと international の社員です。）</p>
基本文型	<p>N_1はN_2のN_3です。</p> <p>N_1 = 私、彼、彼女、〇〇さん、あの方、その人…</p> <p>N_2 = 会社名、学校名、組織名</p> <p>N_3 = 身分</p>
ポイント	<p>【文型・文法のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「N_2のN_3」の形で、会社や学校などでの役職や身分を表す。 日本語の語順では、前の名詞が後ろの名詞を修飾する。（「はぁと international」が「社員」を修飾する、ということ。） 後ろの名詞が主に述べたい情報。 「の」は「～に所属している」という意味を表す。 <p>【教える時のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「の」は、前後の名詞と名詞を繋ぎ、その関係性を表すもの。「は」の前後関係は「主題」と「説明」の関係だが、「の」は修飾関係であることを確認する。 母国語の語順から、「社員のはぁと international です」という間違いが非常に多い。 「職業」と「身分」の違いをよく質問される。「会社員＝職業」「社員＝身分」である。 <p><例1></p> <p>A : ご職業は？</p> <p>B : ○「会社員です」 ×「社員です」</p> <p><例2></p> <p>○「私ははぁと international の社員です」</p> <p>×「私ははぁと international の会社員です」</p>
例文	<p><例文></p> <ol style="list-style-type: none"> 私ははぁと international の社員です。 彼女はさくら大学の学生です。 チャールズさんは日本語学校の生徒です。
場面	